

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	タマリバ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職(作業療法士)を常勤で配置しており、専門職が関わることで、障がいの程度や身体機能、生活機能、コミュニケーション能力など、個々の能力に応じてさらに充実した支援が可能となる。	専門職の意見を取り入れ、支援に繋げることができている。多職種や未経験者の意見が出しやすい環境を作り、職員間で連携が図れている。朝礼、終礼での意見交換や月1での施設内外研修を実施している。	施設内の連携だけでなく、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携できるように信頼関係を築いていく。
2	利用者の必要に応じて個別の対応ができている。個室が多いため、少人数態勢がとれる。クールダウンのために使える部屋がある。	パーテーションを利用することで、限られた空間でも個別対応ができるようにしている。	職員の増員。 長期休みはアルバイトやボランティアを活用することも検討したい。
3	本人の思いを優先し、当日のスケジュールを組み立てている。	自己決定・自己選択を大切に、自分で宿題、おやつ、遊び等のスケジュールを決めて取り組めるようにしている。外出先の写真をファイリングし、写真を見ながら選ぶことができるようにしている。	もっと自己選択ができる場面を増やすことができるようにしたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	5年以上、児童発達支援・放課後等デイサービスで経験を積んでいる職員がいない。	10月からの新規開設事業所であるため、事業所間や他業種との連携が少ない。	計画的に施設内外研修を開催し、個々のスキルアップを図る。 積極的に施設見学に行くことで、参考にできることを学び、職員間での信頼関係を築いていく。
2			
3			